

第2回地区米山奨学委員長セミナー開催報告

新年度を目前に控えた6月18日、次期(2014-15年度)地区米山奨学委員長対象の第2回セミナーを都内で開催しました。今回のセミナーでは『米山奨学生として相応しい学生を採用するために』をテーマに、選考に重点を置いた研修が行われました。

午前のプログラムは、国内で最も活発な米山学友会の一つ、第2780地区学友会の^{オウゴウ}王剛元会長と、同地区の小野良太郎次期委員長が「自立した学友会運営」について話したほか、過去17年個人平均寄付額1位の第2590地区から倉知恒久委員長が「寄付増進の方策」について地区での取り組みを紹介しました。午後は、毎年好評の安増惇夫第2700地区理事による「選考の流れ」の講義の後、3グループに分かれて、模擬書類選考会と質問検討会を実施。ファシリテーターの進行のもと、面接での有効な質問、書類選考の着目点について意見交換を行いました。全国から参加した各地区委員長からは「他地区の成功例を聞いて良かった」「事前の課題は少々大変だったが、セッションでの意見交換は有意義だった」など、好評の声を頂きました。



『飲水思源』をテーマに170人が出席 — 関西米山学友会 —

7月6日に大阪市内で開催された「米山奨学生学友会(関西)」(第2660地区/以下、関西学友会)の総会および新規奨学生歓迎会には、昨年同様、台湾・韓国・タイなど海外学友会役員や国内他地区からの学友会会員・ロータリアンも多数駆けつけ、総勢約170人が出席する盛会となりました。

今回の総会テーマは『飲水思源』。米山記念奨学金制度がなければ出会えなかった縁、ルーツを考える場にしたいと、米山梅吉翁の生涯を紹介する朗読劇が披露され、学友らの熱演に、会場からは惜しみない拍手が送られました。

あいさつに立った^{ホーユーツイ}何玉翠関西学友会会長は、昨年10月のネパール学友会創立総会に参加した際、初対面と思えないほどネパールの学友たちと打ち解けること



朗読劇を熱演

ができたというエピソードに触れ、「米山には国境が無く、学友会にも境界線が無いから、どこでも温かく迎えてくれる」と話し、「今後も国際的なロータリーの活動と、米山奨学生のサポートができるよう努力したい」と結びました。

関西学友会の活発な活動と地区ロータリアンとの連携・交流の様子に刺激を受け、他地区から参加した学友会会員や米山奨学委員長からは「早速アイデアを持ち帰り、改革を試みたい」との声も聞かれ、今後の広がりが期待されます。



NEW

DVD シリーズ『学友マイ・ストーリー』第1弾 近日発行!

1人の学友の活躍を1つのDVD作品にまとめた『学友マイ・ストーリー』シリーズを近日発行します。優れた米山学友の卓話を聞くイメージで、例会等で上映していただけます。第1弾は、スーダン出身のモハメド・オマル・アブデインさん。ご希望のクラブにはDVDを無料でお送りします(7/18~)。ご注文は当会事務局・広報担当まで。